

西日本支店長会

# Branch

2017.8 No.434

Branch  
西日本支店長会

2017年8月 No.434

西日本支店長会事務局

〒810-8721 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞社 西日本会事務局内  
TEL092(711)5190 FAX092(711)5199 e-mail:shitenchokakai@nishinippon-np.jp

事務局だより Secretariat newsletter

新入会員



●所在地/福岡市博多区博多駅前1-15-2  
NMF博多駅前ビル2F  
●電話/092-419-2733



●所在地/福岡市博多区博多駅前1-4-1  
博多駅前第一生命ビルディング5F  
●電話/092-412-8624



●所在地/福岡市中央区薬院2-5-7  
●電話/092-712-1560



九州支社長  
常定 勝氏  
(福岡県出身)



前任者 上原一郎氏は取締役ビジネス営業本部長=大阪府=へ



前任者 小笠原丈晴氏は常務取締役設計本部長=佐賀県=へ



前任者 廣沢明氏は東日本基礎事業執行役員=東京都=へ

会員異動



前任者 大矢英貴氏は大阪店長=大阪府=へ



前任者 小笠原丈晴氏は常務取締役設計本部長=佐賀県=へ



前任者 中島信明氏はSEセンター部長へ

西日本支店長会・パートナーズクラブ合同例会

日 時:2017年9月6日(水) 12時~13時30分  
講 師:EnLinx Partners DEO & Business Producer 尾中 泰氏  
演 題:「博多リズム」\*副題「グローバルリズム? 洒落とんしゃ〜ね」  
会 場:天神スカイホール

「西日本支店長会&パートナーズクラブ」博多三大祭 宮崎宮 放生会幕出し

日 時:2017年9月14日(木) 17時30分~  
会 場:宮崎宮 清明殿 福岡市東区箱崎1-22-1

第7回 県外視察研修 熊本県

日 時:2017年9月21日(木)~22日(金) 1泊2日



「第55回西日本大濠花火大会2017」撮影:の野 季生

# —おかしなあ〜!— 博多の童画家 「西島伊三雄物語」

童画家、そして博多を代表するグラフィックデザイナーとして活躍した西島伊三雄氏(1923~2001)。西日本支店長会6月例会は、同氏の長男で博多町人文化連盟理事長・西島雅幸氏が講師として登壇しました。『—おかしなあ〜!—博多の童画家「西島伊三雄物語」』と題し、プロジェクターを使いながら父・伊三雄氏の作品についてエピソードを交えながら語りました。講演の中で、福岡市指定無形民俗文化財の郷土芸能「博多仁和加」を紹介。そして、会場の支店長とともに博多祝い唄と手一本で講演を締めくくりました。(講演日:2017年6月27日)



博多町人文化連盟理事長  
にし じま まさ ゆき  
**西島 雅幸氏**



西島伊三雄氏(1923~2001)

朝日広告社に19歳で入社した頃、10歳上の松本清張さんが、グラフィックデザイナーとして朝日新聞西部本社に勤務しておられました。観光ポスターコンクールで、父が1等2等を取っていた頃、「僕の

父が童画を描くきっかけになったのは、戦争に行つたことです。日本に帰るときに、船の中で戦友がハーマニカで童謡を吹きはじめると、「みんなで歌おうや」と涙を流しながら唄って帰ってきた。「私は、この童謡の風景の絵を描いていう」というのがきっかけです。

## 幻となった大阪万博マーク

作品は何等だつただらうか」という、清張さんからの手紙が残っています。

二科展が始まったときに、宝くじのポスターが特待賞に選ばれています。その後、宮内庁から天皇陛下の行幸のための絵巻の依頼が、父が35歳のときにありました。



「からつ」の観光ポスター

その頃父が一番力を入れていたのが観光ポスターコンクールです。観光ポスターだったら博多駅で皆さんに見てもらえるからです。

37歳の時に世界観光ポスターコンクールで「からつ」がグランプリを受賞し、全日本観光ポスターコンクールでも「かこしま」で1等賞を受賞しています。

九州各県のポスターを描き始めたころ、他県の知事さんから、「うちの観光ポスターを描いてほしい」と次から次に依頼があり、山梨や箱根のシリーズポスター、そして和歌山や滋賀からも声がかかりました。特に私が一番好きだったのは、和



## いのちにアリガト④

暑中お見舞い申し上げます  
毎日うだるような暑さですね

私は先日熊本県水俣市の山の上の手作り民家で囲炉裏を焚きながらハンモックで一泊して参りました。囲炉裏の炎と裸電球一つの灯りはなんとも暖かく優しい時間を作ってくれました

夜中になると森のざわめき  
朝方には鳥や虫たちの合唱に  
命のたぎりを感じました

昨夜のほの暗い光から  
朝の眩し太陽に主役が代わると  
昨夜と全く違う景色が見えてきました

昨夜見えていたものが見えなくなり、見えなかったものがみえてきて魔法のようでした  
だけれどどちらも元々はあったもの、自分の環境で見えたり見えなかったりしていただけなんだと思うと  
なんだか考えさせられるものがあり見落としていたもの勘違いしていたこと  
どれだけあるのかな?

少しゆっくり自分を見つめていきたいなと  
そよぐ風を頬に受けながら思った朝でした

(大国チオナ)

# Branch

## INDEX

2017  
**8**  
No.434

### 例会Report

- 「—おかしなあ〜!—  
博多の童画家「西島伊三雄物語」」  
博多町人文化連盟理事長 西島 雅幸氏 …… 2~6
- 「博多駅界隈の歴史とこれから」  
(株)博多ステーションビル 代表取締役社長 漆間 道宏氏 … 7~12
- 第55回西日本大濠花火大会を楽しむ会 … 13~14
- 九州人奔る …… 15~16
- 事務局だより …… 17

歌山県の太地の絵です。くじら博物館ができたときに作ったポスターで、くじらの上で芸者遊びをしている絵です。まさかこれが通るとは本人も思っていなかったようで、私はこんな大胆なものを通していただいた知事というのは、すごいなと思いました。

いろいろとデザインをしていたのですが、或る銀行から父に声がかかり、「博多弁で司会をしてゲストを迎えたら面白からうや」ということで始まったのが、「やあ今晚は」という、「徹子の部屋」の15分番組みたいなものです。第1回の東京からのゲストが森繁久彌さんで、父が博多弁で「どこから、こらっしやった」と聞いたたら、森繁さんが「ヨットで東京からきちやっつてさ」と答え、そのマツチが面白かったみたいですね。福岡、博多は西鉄ライオンズがものすごく強い時代で、中西さん、稲尾さん、高倉さんとかが、一緒にこの番組を盛り上げました。

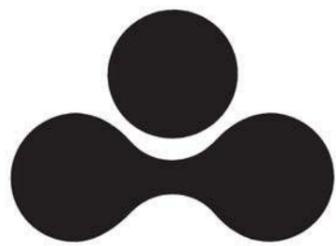
この番組が3年間続いた後、テレビの天気予報の絵のおじさんを始めました。1日交代で、1日目が父のテレビ天気予報絵のおじさん、次の日がヤン坊ママー坊の天気予報。テレビのちよっとした人気者になりました。

てよかでつしようか」とお願いして、乗り回ったのです。

博多町人文化連盟は「勲章を貰って頂く会」を開いています。どこでもそうですけど、頑張ったら賞状とかをやられていますよね。陰で頑張った人に壇上の下から「貰ろうてつかあさい」と勲章と賞状を貰って頂いています。九電の元社長松尾さんが、「こりや、よかことしよんしゃんね。うちの会社でも真似したか」と言われたことを、今でも覚えています。

とにかく福岡の文化を海外に見せようと、サンフランシスコでどんとく隊を披露しました。これ以外に、踊りやお囃子隊に声を掛け200人ほど集めて、福岡市の姉妹都市の米国のオークランドやニュージーランドのオークランドにも行きました。山笠もハワイに行きました。

こういった実績が認められて、サントリー文化財団から「地域文化功労賞」をいただきました。「あの天下のサントリーさんが100万円やしやるばい」と、中央に認められるというのは博多の人間にとつて嬉しいことでした。父は個人的に数々の賞をもらっていました。100万円をもらって、博多でどんちゃ



1等賞に選ばれた大阪万博の幻のマーク

大阪万博には、幻のマークがあります。万博があつたときに17名のデザイナーが選ばれました。その中の1人が父で、1等賞だったんです。真ん中が日本で、その下に鉄アレイのような形があり、お互い手を取り合い「世界は一つ」という意味で作ったマークです。ところが1カ月後に、協会会長の石坂泰三さんからこれは分かりにくい。日本であるのだから、日本らしいマークということでも、めにもめて校をあしらったマークになったわけです。一番がっかりしたのが週刊誌。なぜかというも、めめた方が週刊誌は売れるのです。10くらいの週刊誌や報道関係者が来たのは、父の反論が欲しかったのです。「あけなマークになつて」と言えばよかつたのに、「そりや、上が言いよんしゃあけん、しよんなかでつしよ」で片付いたものだから、週刊誌がまったく売れなかつたことをい

ん騒ぎをして全部使いました。

### 博多仁和加にチャレンジ

私も博多仁和加をやつたりおかしな踊りを踊つたりしているのですが、博多座に出演したり筑前琵琶の会からお声がかつたりします。それでは、博多仁和加をやつてみましょうか。博多仁和加をするときは、必ず面をかぶらないかんとです。

「ご住職。なんばしよんしゃあど。そげな高いとこに上がつたら危なかですばい」

「あ、屋根瓦ば直しようとするたい。そげん心配しんなな。あたしや坊さんのことやけん、毛が無い(怪我無い)、毛が無い」

これが博多仁和加です。今日は皆さんに博多仁和加をしてもらいます。その前にクイズを出します。けん、答えてつかあさい。当たった人には、良かもんがありますけん。「このごろおかしな議員が多か、その中でも大きな声で泣く野々村議員。ありや、野球のピッチャーをしたらよかとに」

「なしかいな」  
「そりや、ピッチャーのことじゃけん、〇〇が良かに決まっとる」  
分かりませんか。それでは答え

まだに覚えています。

その1年後に、ナショナルの冷蔵庫のコンペがありました。扉のデザインのコンペです。2万点の中から選ばれ、1等と2等を取りました。花束というタイトルの冷蔵庫で、5、6年ほど販売していただきました。その賞金は1等が100万円、2等は20万円。合わせた120万円、今でいうと1500万円近くを貰いました。父が伴淳三郎さんと仲が良く、「どうせ、この金持つとつたつて、中洲に消えていくけん、何かの役に立ててつかあさい」ということで、あゆみの箱に寄付をしました。すると事務局から「あゆみの箱チャリティーショー」のポスターを描いてくださいと頼まれ10年くらい描いていました。

父は博多町人文化連盟を作り、そのマークとロゴも制作しました。昔、博多では粋な餅つきをしていました。これは普通と違っていて、お囃子隊に合わせて餅をついていくんです。だんだん三味線などを早く弾くようになって、最後はつく人が疲れるくらい早い調子で弾いていくんです。これが博多の餅つき。父が復活させて、今でも旧正月に博多町家ふるさと館の前で行っています。

博多どんたくには、必ず博多町

を言いますよ。

「そりや、ピッチャーのことじゃけん、剛球(号泣)が良かに決まっとる」。

もういつちよういきまっしよか。

「今日と明日、九大で品のいい西島さんの話があるとげなが、あした行ってみようか」

「なんば言いようや。学校であることやけん、〇〇が良か」(会場から)「今日行く(教育)が良か」。

「そう、当たり！ うまかつちやんば差し上げます」

それでは、どなたかに壇上に上がってもらいまっしよ。仁和加面を付けてつかあさい。

(西島氏)「東京オリンピックが3年後にあるばつてんくき、外国人にどげなもてなしが良からうか」

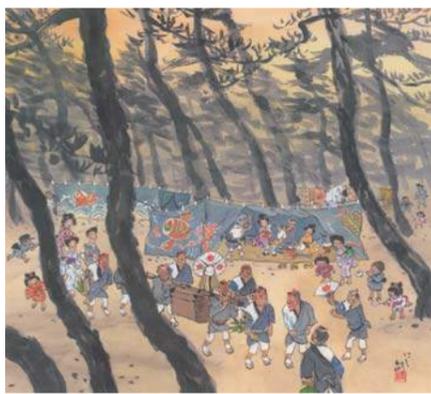
(支店長)「そりやな、自動販売機でコーヒーば出したらどうかいな」

(西島氏)「なしてな」  
(支店長)「そりや、もてなしのことやけん、ほつとかん(ホット缶)がよか」

### ネーミングに「ちゃん」

永六輔さんは浅草の坊さんの息子です。父と仲が良く、博多が好きでした。父が「西島伊三雄童画

人文化連盟は参加させていただいております。



幕出し道中の様子を描いた作品

管崎宮の放生会のように、幕出しと長持ち道中を9月中旬にやります。長持ち唄を唄いながら参道を歩くもので、松の木の下隅に幕を張り、この中で踊つたり、唄つたりして、年寄りの人たちに自分たちを知ってもらおう、いい場所だったので。お見合いの場でもあつたのです。この中で結ばれた方もいらつしやるそうです。それを復活させました。

父が43年前に始めた博多町人文化連盟ですが、「ちんちん電車(市内電車)が無くなる。やつば、寂しかね。ちんちん電車に、みんな感謝の気持ちを入れてから、昔の格好で乗ろうや」ということで、市長に「明治時代の格好で一日乗り回つ

集 日本の十二ヶ月」を出したとき、永六輔さんからメッセージをいただきました。その文章は「誰でも物心のついたとき、大人つていやだなあと、いやがて自分がその大人になつていことに気が付く。ところが西島さんは子どものまま大きくなったのではないでしようか。だから、西島さんと会っていると、僕は自分が無くしてしまつた心を見つけることができます。僕は西島さんとなら、飲めない酒が飲めるんです。そして、生きていて良かったと思うのです」。永六輔さんは、昨年亡くなられたのですが、亡くなられたときにこのことを思い出しました。



インスタントラーメン「うまかつちゃん」

さきほど、博多仁和加の賞品として渡しました「うまかつちゃん」について話します。37年前に「博多で

豚骨ラーメンで勝負をしたい」と、ハウス食品の方が来られました。ところが、父は最初断ったんですよ。「ハウス食品さんが、なんで豚骨ラーメンは作らないかんのですか。カレー味のイメージが強かですもん。作ったって売れんではばい」。そのころ西城秀樹さんが、ハウスパーモントカレーのCMをやっている、それが父の頭にあつたのでしよう。

断ったのですが、ハウスの方が「豚骨ラーメンで勝負をしたいので絵を描いてもらえないですか、どんなネーミングが良いのでしょうか」と見えました。博報堂さんが中に入っていて、キヤッチコピーも何点か作ってありました。その中に「こら、うまか」といった男言葉がありました。それで父が「インスタントラーメンというのは、おっかさんが買いに行くんですよ。子どもの夜食のために買うのだから、お母さんが買いたいような名前じゃな」といかにばい」

そのころ博多は、〇〇ちゃんうどんが流行っていたというか、言いやすかつたんですよ。「なら、ちゃんば付けようよ」ということで、「うまかつちゃん」になったのですよ。

そういうことでデザイン料を貰うようになるんですけど、契約の中に一つ売れたら幾らとあつたん

ですよ。「どうせ売れんけん」と父は断って、「指定の金額でよかですパイ」と言ったのが大失敗。2年後には全国に行き渡って、東京にいる博多出身のひとか九州の人が沢山食べるようになりました。37年も続くインスタントラーメンはあまりないそうです。

30周年記念のときは父は亡くなつていたので、代わりに私が行ってきました。「この方が、うまかつちゃんを作られた西島さんのご息です」と紹介されました。そのときに、すごく気になった言葉があります。「このビルが建つたのはお父さんのおかげ」と言われたときに「こら、しもうた」と思いました。

それから父は、マークをいろいろ作っています。1980(昭和55)年に作つた福岡市地下鉄の空港線と箱崎線のマークは、博多に関係のあるものがほとんどです。地下鉄以外に、博多駅の筑紫口に、山笠とどんたくを有田焼で焼いたものがあります。正面玄関にもあるのですが、横が23段あります。博多駅にはあんまりこちゃこちゃしたとは置きたくないということで、铸造で彫つた山笠です。

大相撲で若貴が大関になつたときと横綱になつたときの化粧まわ



渡辺通

地下鉄七隈線  
「渡辺通駅」のマーク

父が亡くなる2年くらい前に、福岡市地下鉄七隈線の駅のラフスケッチを描きました。「俺が作りたマークはお前が一番知つてらうけん、作ってみやい」と言つて、ラフスケッチを7、8点描いてもらったのです。それを元に作らせていただきました。ただ七隈線というのは、何もないとこなんです。昔は田んぼばかりで何も無かつたところなので、武野要子さんという郷土史家の先生に「なんで、こういう名前が付いたんですか」とお聞きして作りしました。

石鹸のマークは、わが身を洗かして 周りの人に 尽くせたら 3.12.2

しのデザインをしています。父が亡くなって、私が父の作品で作つたもので、真ん中に山笠疾走の図、左側に力綱と鉄砲、右側にお汐井テボと綱があります。これを朝青龍が横綱になつたときに作りました。

博多に歌舞伎とかが来たらよかよねと言つていたところに、博多座ができることになりました。父のところにマークとロゴの依頼があつたのです。50点を超える案を作り、博多座の社長に選んでもらつたのが松竹梅の松を力綱にしたもので、下に博多座の文字があります。いっぱい来てもらわないかんということ、肉太の勘亭流みたいな文字に決まりました。

ななつ星にも寿司を出している「やま中」のトイレには、父が直接絵を描いていますので、ぜひ見てください。宮崎の焼酎「くろうま」は、ある代理店が家に来たときに、皿にくろうまの絵を描いて飾つたのを見て、「これがいい、これで勝負させてください」となり、今でも売れているそうです。

それから大衆演劇の博多新劇座。その緞帳を描いています。九大病院の外來棟ロビーに、横が17段ほどある山笠の絵があります。これは有田焼で焼いているんです

父の残した言葉で私が一番好きだつたのは、「石鹸のように わが身を溶かして 周りの人に 尽くせたら」。父のカレンダーには必ず入れさせていたでいます。

みんなに言っておきたいのは、このごろ料亭とかに顔を出したときにお酒を持つてくるときに音を立てる方が非常に多いのですよ。ああいうのに父はものすごく敏感で、すごく嫌っていました。お客さんを連れてきているのに、水でもなんでもガチャンとやるのです。それは上を持つているからなんです。下を持つてば音はしないんですよ。ね。そういうのを教えていただきました。酒のつぎ方もそうなんです。よ。女の人は色気を出さない。右肩を下げて、底を持つてラベルを上にする。こういうことを父から習いました。

父が芸者さんをあげている所に、夜8時ごろ「お前ちよつと来い。紹介したいけん」と呼ばれて行ったことがあります。「芸者もあげらな、博多も芸者がおらんことなるぜ」ということで飲んでいたらいいです。そのときに「財布は忘れたけん線香代ば持つてきちゃりやい」と言うから、いまからどこか葬儀に行くとかいなと思つたんですよ。そうじゃなくて、初めて知りまし

よ。私も3カ月ぐらい有田に行きました。焼き物は上から見るとすよね。「こはもつと黒くして」とか「もうちよつと深く掘つてくれんやろうか」という具合に指導しました。焼き物の凹凸があるのはいいですね。ライトが当たつたら、影が出来るから、深みがものすごくあるんですよ。だから、有田焼で焼いて良かったなと思いました。

「人生は観察力」と父

私も昔は子どもたちの教室を開いて、教えるのがすごく好きなんです。子どもたちが、今ちよつと落ち着きがありません。スケッチ大会にしてもきちんとした絵を描かないんですよ。能古島で毎年スケッチ大会をやっていますが、絵を見て昔の人と違うなと思うのは、物を良く見ていないのです。ね。形だけで、大胆に描いていてポスター的にはいいのかもわからんけど、葉っぱが違ふよね、ここをもうちよつと見らんといかんよねといつた絵がほとんどです。

もし、お孫さんや子どもさんが絵を描くときには、その場に行つて絵を描かせるのが一番いいのです。印刷物とかではなく、物を見て描く。例えばヒマワリ。ヒマワリの

たけど、昔は料亭の両端に線香が2本あつて、それにマッチをする。線香が終わるまで遊んでいいということだつたんですよ。それを私は20歳のときに知りました。博多では、博多祝い唄3番を歌つた後に、必ず手一本を入れます。手一本を入れた後には、ここにいる人は喧嘩をしたらいかんよ、仲よろしうよという意味も入っています。最後に、博多祝い唄3番と手一本を覚えて帰つてください。

2004(同16)年、父は福岡市で初めて名誉市民の称号を授与されました。そのときは王貞治さん、柔ちゃん、どんたくに貢献された下澤さんが授与されています。

博多町人文化連盟理事長  
にしじま 西島 雅幸

博多生まれ。グラフィックデザイナーとして受賞歴多数。故・西島伊三雄氏は「うまかつちゃん」のネーミングやパッケージデザイン、福岡市地下鉄「箱崎線・空港線」や「博多座」のシンボルマークを作成した。伊三雄氏のラフスケッチを元に福岡市地下鉄「七隈線」16駅のシンボルマークを作成。現在は、「博多町人文化連盟」の理事長。

# 博多駅界隈の歴史とこれから



(株)博多ステーションビル  
代表取締役社長  
うま みち ひろ  
**漆間 道宏氏**

九州新幹線全線開業や新ビル「JR博多シティ」の誕生など、九州の鉄道の玄関口として発展を続けるJR博多駅には、さまざまな歴史が詰まっています。昭和36年、3代目となる博多駅を建設するために「(株)博多ステーションビル」が設立されたことが、博多駅エリアが飛躍するきっかけとなっています。

西日本支店長会7月例会は、(株)博多ステーションビル代表取締役社長の漆間道宏氏が、民衆駅としての歩みを始めた博多駅と周辺環境の整備、博多ステーションビルの今、これからの博多駅界隈について語りました。(講演日:2017年7月11日)

## 1. 博多駅と周辺環境の変遷 〔誕生Ⅱ昭和36～39年頃〕

(株)博多ステーションビルは昭和36年3月に設立されました。目的は、国鉄の「民衆駅」構想の実現と地域の活性化。民衆駅とは、駅舎の建設を国鉄と地元が共同で行って、その建屋の中に商業施設を設けるものです。

前年の35年に「博多民衆駅設立準備委員会」ができています。これに基づき、博多ステーションビルが設立されました。福岡商工会議所会頭の佐藤篤二郎さんが発起人代表で、ほか21名の発起人がいました。その中に、出光佐三さん、麻生太賀吉さん、太田清蔵さん、安川第五郎さんといった、当時の福岡財界の名士の方々が名を連ねていました。佐藤会頭が博多ステーションビル



7階建ての偉容を表した博多ステーションビル(昭和38年)〈写真①〉

ル初代社長に就任するのですが、この方は九電の社長、会長を歴任され、当時は福岡商工会議所の会頭でした。

37年4月に博多ステーションビルが着工。7階建てのビルです。現在の博多駅は第4代で、博多ステーションビルは第3代です。このとき国鉄から提示があったのは、5階建てのビルでした。「5階建てでは足りない」ということで、当時の当社幹部たちが国鉄に頻繁に陳情に行つて、7階建てになったそうです。総工費は約32億円。この建設費は国鉄と博多ステーションビルが、ほぼ半分ずつ負担しています。

建設を行った企業体の組織はJV形態でした。この時代は、まだJ

Vが非常に珍しかったようです。躯体は清水建設と鉄建建設、内装は竹中工務店、そのほか九電工などが担当しました。リベット工法による鉄骨の組み立ては、当時としては最先端の工法でした。壁面の金枠は、先進的だったアルミを使っています。

現在の地下鉄祇園駅の近く、出来町公園の辺りに2代目の博多駅があり、南へ600m移動した位置が現在の博多駅の場所です。2代目と3代目の博多駅が一緒に写っているのは、非常に珍しい写真です。(写真①)

3代目の博多駅は旅客専用駅として38年12月に開業。開業日の乗降客は9万2300人、切符の売上高が522万円、入場券の利用者が1万8000人と記録されています。

この時同時にオープンしたのが、名店街(現マイング)、レストラン街の一番街(現博多1番街)です。次いで翌年の39年3月から5月にかけて、博多ステーションビルの全館がオープンしました。専門大店、大光百貨店のほか、ホテルニューハカタが入居。ホテルニューハカタは博多ステーションビルとは別会社でした。当時、福岡市には二つの都市ホテルがあり、一つは中洲にあつ

た日活ホテル。もう一つは呉服町にあつた帝国ホテルです。ホテルニューハカタは、「群を抜く高級ホテル」と言われていました。当時の一室当たりの建設コストが500万円だったそうです。同時に大食堂や地下センター(現博多駅地下街)もオープンしました。

専門大店の中に、当時の社長が茶室を造りました。「福岡の迎賓館」と呼ばれていて、茶室の建設費がなんと1000万円だったそうです。

ここまでは順風満帆の状況でしたが、その後、景気後退の影響により、オープンしたばかりの大光百貨店が4カ月後に経営難に陥り、閉店してしまいました。「ホコリ(?) 高さステビルの異名を取った頃、周辺に何も無いのがよく分かる」と新聞記事に書かれています(写真②)。周りは野っぱらで、全くお客さまが集まってきたませんでした。その後、専門大店に新店を出して、多くの店舗が、ビル2階から地下センターに移転しました。オープン後4カ月から8カ月で、休業、移転、廃業



ホコリ(?) 高さステビルの異名を取った頃。周辺に何も無いのがよく分かる(昭和39年)〈写真②〉

に見舞われたのです。駅周辺も環境整備が一向に進みません。建物はできたけれども、なかなか思うように周辺地域の活性化は進まなかつたのです。

## 〔飛躍Ⅱ昭和41年～平成5年頃〕

博多井筒屋が昭和41年5月に開業しました。福岡市内で5番目のデパートです。開業時に5000人の行列ができ、初日の来場者は10万人。売り上げは4000万円。

1日店長として、柳家金語楼さんが招かれました。

その後の展開に大きな役割を果たしたのがビル誘致条例です。正式名称は「博多駅周辺高層建築物設置奨励条例」。固定資産税の50%以内を3年間還元するもので、一定の規模のビルに対して昭和33年にさかのぼって適用がされるという条例です。昭和42年4月に施行されています。その後、数年の間に、駅の近辺に14余りのビルが建設されました。

45年2月には、福岡朝日ビルの9階から14階にホテルステーションプラザが開業しました。経営はホテルニューハカタに営業委託されました。50年の山陽新幹線博多駅延伸に合わせて、ビジネス客や観光客の増加を見込んだものです。客室数は248、結婚式場や宴会場、会議室、食堂などを備えた総合的なシティホテルです。開業時のシングルルームの料金は2000円から2700円でした。

48年3月に博多ターミナルビル(株)が設立されました。会社設立の目的としては、新幹線博多駅ビルの建設と管理です。国鉄と博多ステーションビルなどが出資。博多ターミナルビル初代社長には、博多ステーションビルの広田社長が

就任しました。新幹線の博多駅開業に伴う環境変化に対応するため、当社も総力を挙げて取り組んだのです。

50年3月、山陽新幹線の博多駅が開業。同時にターミナルビル内にデイトスが誕生しました。135店舗で、面積は1万8900平方メートル。山陽新幹線が開業して、一番良い影響を受けた博多の名物が辛子明太子です。これが爆発的に売れました。当時は冷凍冷蔵技術が発達していなかったため、夜行列車では持って帰れませんでした。新幹線ができたので、日帰りを持って帰ることができたのです。

52年4月、博多駅商店連合会（駅商連）が発足しました。五つの商店会と博多井筒屋が駅商連に加盟し、博多駅商業施設のイメージアップと結束力向上に大きく貢献しました。五つの商店会は、博多駅ビル商店会、名店街、一番街、地下センター、サンプラザ協同組合、朝日地下センター商店会、福岡交通センター商店会、それにデイトス商店会です。

当時の駅商連の年間主要行事が、3月の博多駅まつり、5月の博多どんたく、7月の博多祇園山笠の飾り山の3つ。残念ながら、駅まつりは無くなってしまいました。

### 商店街のアクセスマップ



含めた地域社会の繁栄・発展に寄与します。「今後の周辺環境の変化を的確に捉え、テナントとの信頼関係強化による共存・共栄を図ります」体系的な人材育成による会社の継続的発展を具体的に「す」。これらの経営理念を具体的な目標へつなげるための当社の5年後のあるべき姿は、東京オリンピックや七隈線の延伸を念頭に置いてやっていたら、「博多駅の周辺環境が大きく変貌していく平成30年代前半を当面のターゲットに見据



57年11月には地下センターを改装し、博多駅地下街と名称を変更。これは、58年3月の福岡市営地下鉄の姪浜駅〜博多駅間の開通を見越しての改装でした。また翌年には、一番街を全面改装しました。

市営地下鉄の1号線が全線開通したのが60年3月。平成元年にマイニング博多駅名店街が、開業以来26年ぶりに全面リニューアルを実施しました。その後、5年3月、地下鉄空港線が全線開通。交通の手段が拡充することにより、博多駅は飛躍的に発展してきたのです。

え、その変化に柔軟に対応し、進化し続ける企業」を掲げています。

私は博多ステーションビル社長に就任してから、毎年独自の年間キーワードを作成しています。キーワードは、毎年11月から12月に考え、会社で年頭挨拶を行う1月4日に発表。テナントの皆さんに対しては1月に行う商店会の新年会の場で話をします。その後、3月まで店長会や社内での定例会議などさまざまなところで繰り返し話をします。社内各部署では新年度の事業計画に、キーワードの要素を落とし込んでもらいます。

26年が「挑戦」。マイニングの全面的リニューアルを計画している時で、新しいことをやっていたら「挑戦」にしました。27年は、マイニングのリニューアル工事を行うことから「再生」。昨年はリニューアルが終わったので、次のステップとして「進化」。今年「連携」で、テナント（経営層、店長）とのコミュニケーション強化、販促活動などを通じた3商店街の連携強化、社内各部門間の壁の払拭と情報共有化に取り

### 〔変革Ⅱ平成16年〕

朝日ビルに入っていたホテルステーションプラザが、平成16年8月に解散しました。この頃福岡市内ではホテル競争が勃発して、多額の赤字を抱えていたことから止む無く閉鎖しました。

その後当社にとって一番大きな出来事がありました。19年3月に博多井筒屋棟をJR九州に売却したのです。これは、九州新幹線が博多駅まで延伸してくることに合わせて博多駅を九州アジアの玄関口に変えようということでした。

23年3月に九州新幹線が全線開業。この時JR博多シティが開業し、アミュプラザ博多や博多阪急などがオープンしました。博多1番街もリニューアルし、現在の新しい形で再スタートしました。

27年12月にはマイニングの26年ぶり全面リニューアルを実施し、同時に116本ある柱の耐震補強工事を併せて行っています。全面リニューアルのテーマは「博多らしくがあたりしく」。環境イメージは「和モダン」で、博多織などをイメージ

組んでいます。

私はテナント運営面での考え方として、「マイニング、博多駅地下街、博多1番街の3つの商店街は、一つの大きなショッピングセンター」と言い続けています。また「CS（お客様満足）の前にES（従業員満足）あり」とも話しています。従業員とはテナントのスタッフの方々です。環境整備などで従業員の方に満足していただかないと、お客様の接遇に良い影響が出てこないという意味合いです。年に数回、従業員の方を集めてボウリング大会をやったり、店を閉めた夜9時から飲み会をやったりしています。さらに、「テナントスタッフは当社社員と同列」。これは意識の問題なのですが、いろんな場面でテナントスタッフの方々に大事に思う気持ちの表れです。

次に、私は経営の根幹は「人」と信じています。人材、特に若手、中堅、あえてもう一つ加えると、特にショッピングセンターは女性のお客さまが多いので女性ですが、人材の獲得と育成が、今後の当社の成長には必須です。よく言われることですが、建屋などのハードは更新した時点から劣化が始まりますが、ソフトは経験や努力によって進化をして、ブラッシュアップを

したものになりました。マイニング広場は1.4倍に広げて、水と緑の憩いの場に生まれ変わりました。その後、昨年4月にKITTE博多ビルやJRJP博多ビルが開業しました。

### 2. (株)博多ステーションビルの今

これからは当社の事業の概要についてお話しします。

マイニング、博多1番街、博多駅地下街の3施設で130店舗あり、平成28年度の売上高は約120億円です。1日の平均入館者は、マイニングが5〜6万人程度です。地下街と1番街は周辺施設への通路になつていますが、平日の通行人は博多駅地下街が約4万8000人、博多1番街は約2万6000人です。

マイニングと博多1番街、博多駅地下街は23年の工事によりエスカレーターでつながったことから、一つの大きな商業施設という認識で運営しています。経営理念は、「九州の表玄関博多駅と近隣施設を

ここで「3商店街の現状と課題」についてお話しします。マイニングは2通路で駅コンコースと直結、また駅のプラットホームにも2カ所につながっています。マイニングの面積はワンフロアで約7000平方メートル。利用者の半数は県外の方です。こういう地の利を持っている施設は、全国でも珍しいと思われれます。これがマイニングの強みですが、これをいかに生かすかが課題です。売り場は、菓子、塩干（明太子）などの



九州土産とスーパー、ドラッグストアなどの日用品が混在しています。半分は観光客、半分は地元の方なので、両方のお客さまに満足していただけるような品揃えに努力しています。

マイングの一番奥には、スーパーの「博多ステーションフード」があります。博多駅界隈唯一の大型スーパーです。福岡や九州限定の隠れた日用品を豊富にそろえています。例えば九州限定の水のペットボトルや袋菓子、九州・福岡限定のラーメンといったものがあります。

また、昔はマイング内に銭湯や映画館がありました。銭湯は、新幹線が開業する前、夜行列車が走っていた時代です。夜行列車で朝方博多駅に着いたビジネスマンが仕事に行く前に、ひとつ風呂浴びていました。また映画館は、娯楽がなかった時代にぎわったようです。

53年の歴史があるマイング。テナントやデベロッパーである当社には長年の経験はありますが、裏を返せばマンネリ化です。これをどうするかが課題です。またマイングの通路を歩いている人は、20代や30代の女性、いわゆるF1層です。ところが実際に商品を購入される方は60代の方や女性が中心です。

す。このギャップをどう埋めていくかが、もう一つの課題です。

マイングの今年の年間メッセー

ジは「博多のまんなかマイング」。これからのキャンペーンとして「マイングN.O.1おみやげ決定戦」を実施します。今年で4回目、当初は「おみやげ総選挙」という名称で行ってききましたが、今年から「マイングN.O.1おみやげ決定戦」に変更しています。ターゲットは夏休みやお盆の帰省客です。1000円以上のお買い物で投票券を進呈。自分が欲しいお菓子に投票するもので、昨年は1万2389票の投票がありました。1位は冷たい唐揚げの「努努鶏」、2位は長門屋の「かば田の辛子めんたい」、3位は佐世保・岩崎本舗の「角煮まんじゅう」。「努努鶏」は3年連続1位でした。なお今年のエントリー数は58品目です。

次に博多駅地下街は、朝日ビルと当社で共同管理を行っていて、地下街の真ん中あたりで管理施設の線引きをしています。一方、中央通路は市道で、バスターミナルや地下鉄、三井ビルなどにつながっていて、商店街には飲食、衣料、サービスなど多様な店があります。課題としては、数年後の地下鉄七隈線の乗り入れへの対応、さらに

は電気や機械設備が30数年経過して老朽化していることから設備の更新などがあります。

博多1番街は、4代目のJR博多シティ誕生と同時に23年に14店舗でオープンしました。いつも行列ができていた店が3店舗あります。牛タンの「たんや博多」、回転すしの「博多魚がし」、鉄板焼きの「天神ホルモン」です。

昨年の春、博多駅周辺に大きなビルが相次いで完成し、飲食店の数が数年前に比べると1.8倍ぐらいいなっています。来年3月にテナントとの契約が満了になりますので、これを機会に競争激化に対抗できるようにニューアールを検討しています。

7月21日から8月末までは、ビールとつまみがついて720円の「真夏のビール祭り」を実施します。三つの商店街の飲食店を束ねて「博多グルメグリ」キャンペーンを、年間を通じて行っています。

「社内体制の強化」としては、組織の見直しとして、営業部ではエリアマネージャー業務の専門性向上などを掲げています。また広報



マイング全体

広場でのイベントは、公共的なものは無料でお使いいただけます。またインバウンドは、韓国のプロガーに博多駅まで来ていただき地元で発信してもらっています。

### 3. これからの博多駅界隈

福岡市の総合的な評価は、2016年の世界の住みやすい都市ランキングで7位。これはイギリスのグローバル情報誌のランキングで、国内都市では東京の1位に次ぐ位置です。また野村総研が国内の100都市を調査した成長可能性都市ランキングで、福岡は東京23区に次いで第2位。その中の評価として、空港、新幹線へのアクセスや企業支援策の充実、市民の幸福度が高い、支店経済の街を脱し3大都市圏に次ぐ第4の都市になりつつあるという高い評価が出ています。その他、総合特区、人口の増加、クルーズ船の寄港などでも評価されています。

福岡市の今後の開発計画とし



ては、いよいよ天神ビッグバンがスタートし、福岡空港の民営化、ベイサイドエリアではクルーズ船が同時に2隻接岸できるように計画されています。さらには地行浜のホークスタウンの跡地では既に三菱地所が工事を始めていますし、六本松九大跡地ではJR九州が開発を進めています。箱崎の九大跡地42畝については、これから大規模な再開発が行われようとしています。

一方、博多駅界隈では、地下鉄七隈線の博多駅乗り入れは当初平成32年度の計画でしたが、若干遅

れるかもしれません。七隈線のプラットホームは博多口の地下5階にできると聞いています。そこからJR在来線のホームと地下鉄空港線につながる通路ができるようになっていきます。さらにJRJP博多ビルの東側に、市営のバスターミナルが32年頃に完成する予定です。クルーズ船の乗客の一部が、こちらに流れてくると聞いています。

また博多駅周辺では、ホテルの新築や改築が計画されています。既に都ホテルが改築中で、この数年間に、約1000室が増える見込みと言われています。

こういう状況の中で、博多駅は列車、バスの交通の要衝であることを生かして、国内外の観光客、特にインバウンド観光客を福岡市ばかりでなく九州全域への活性化という形で広げていくことが大事です。これを実施するための具体的な方策が3点あります。

1 点目は博多駅周辺紫口と後方周辺地域のにぎわいを回復し、博多口との一体感を醸成すること。2 点目は博多駅周辺街区との連携の展開です。近くには饅頭やうどんの発祥地の寺院や櫛田神社といった寺社町があり、さらには「博多町家ふるさと館」などの伝統工芸地域があります。また、イン

バウンド観光客のゲートとしての港や空港との連携が必要となります。

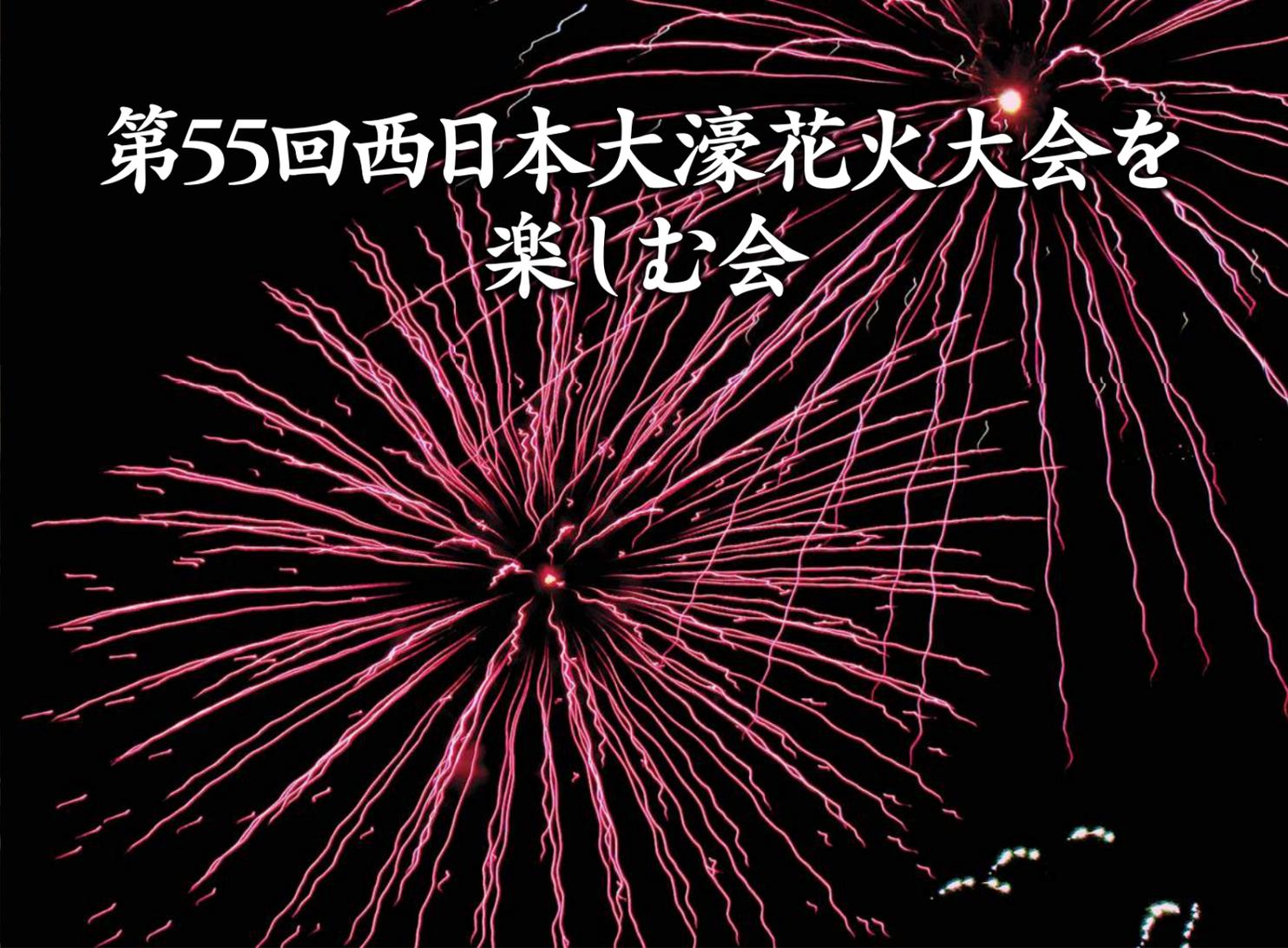
3 点目として、福岡市、福岡県、九州・沖縄の情報発信拠点として、博多駅を産官学共同で整備すること。国内や海外に押し出せるものができれば、博多駅周辺ばかりでなく九州全域とつながってきて、大きな流れの中でのものが見えていくのではないかと考えています。

(株)博多ステーションビル 代表取締役社長

漆間 道宏

昭和29年生まれ。同52年神戸大学卒業後、同年九州電力に入社。副社長秘書、経理部財務課長、鹿児島支店副支店長、経理部経理計画グループ長、監査役室長、総務部長を歴任し、平成23年九州経済連合会(常務理事)に就任、同年九州電力理事、同25年博多ステーションビル社長に就任、現在に至る。

# 第55回西日本大濠花火大会を 楽しむ会



8月1日、ロイヤルガーデン  
カフェ大濠公園で、100名  
の参加者から歓声と拍手が  
沸き起こりました

8月1日、「第55回西日本大濠花火大会を楽しむ会」を西日本支店長会とパートナーズクラブ合同で開催しました。ご夫婦や家族連れ、会社の同僚など100名の参加がありました。会場の鑑賞スペースの関係もあり、約20名のキャンセル待ちがでるほど人気のある課外活動となりました。

この日の福岡市は猛暑日だったのですが、会場内は天国。クーラーが効いた会場でビュッフェスタイルの美味しい料理を楽しんでいただきました。食事後はテラスに移動しての花火鑑賞。

午後8時に開幕し、ドーンという音とともに赤、青、緑、金色の大輪の花が開き、テラスからは歓声と拍手が沸き起こりました。フィナーレの仕掛けナイヤガラ滝まで1時間半にわたり夜空と水面に色とりどりの光が揺れる花火を大いに満喫していただきました。間断なく打ちあがる花火約6千発が都心の夜空を彩り、人出は約41万人でした。

こんな所から見れるなんて素敵、と参加者の皆さまは大喜びでした。



# 九州人 の走る

九州人が、一直線に奔る。  
目的のため、がむしゃらに奔走する。  
時代を超え、壁を破り、走り抜いた人びと  
その軌跡を辿る。

## 九州に鉄道を引いたパイオニア やすばやすかず 安場 保和 (1835~1899)



福日のキャンペーンも空振りかと思われた。

### 政府に方針転換迫る

1886(明治19)年、福岡県令に着任した安場は、直ちに「九州に鉄道を」に動いた。政府に対して、幹線鉄道の官設は揺るがぬ方針か否か、民設は許さないのか、と迫った。鉄道敷設には、膨大な財源を必要とする。それだけでなく、財政難に悩む新政府にとって、あるいは渡りに船であったのかもしれない。政府はこれまでの方針を転換、「民設も許可」とした。

安場は、直ちに熊本、佐賀の県令と連絡を取り、「九州鉄道会社」設立のための政府の資金援助を要請した。九州鉄道の路線案は門司、博多、田代(鳥栖)、熊本を結ぶ現在の鹿児島本線と田代から分かれて佐賀、早岐(佐世保)を結ぶものだった。慌てて、長崎県は長崎、佐世保線の敷設を願いだした。

悪戦苦闘している中で、「快挙」とされた。国鉄から分割民営化して30年、ようやく民間会社としての出発である。

実は、九州の鉄道のスタートは民間会社であった。西南戦争が終わり、ようやく殖産興国へ突き進もうとする明治日本にとって、経済の「大動脈」である鉄道は最優先課題であり、「九州に敷設すべし」の声が上がった。

た。旗振り役は福岡日日新聞(西日本新聞の前身)である。

受けて立ったのが、当時の福岡県令・安場保和である。安場は熊本肥後藩士。新政府は鉄道敷設の重要性から、幹線鉄道は国自ら敷設するという大方針のもとに進んでいた。1872(明治5)年、新橋、横浜間が「汽笛一声」、開通したが、九州にまで鉄路が延びる日は、遠かった。

## 民設の九州鉄道設立に尽力

## 米国の開拓精神を学び、人生を貫く

事は急テンポで進み「九州鉄道」は1888(明治21)年9月、博多、久留米間を着工、翌年12月には博多、鳥栖間が開通、1891(明治24)年4月には熊本まで伸びた。

九州鉄道会社は、石炭運搬の筑豊の鉄道を支配下に置き、九州の鉄道網を広げ、全国有数の鉄道会社になる。1907(明治40)年、九州鉄道は国鉄となるが、安場の「民の力」を信じる精神は、生涯、変わることはなかった。

### 米国のパイオニア精神に学ぶ

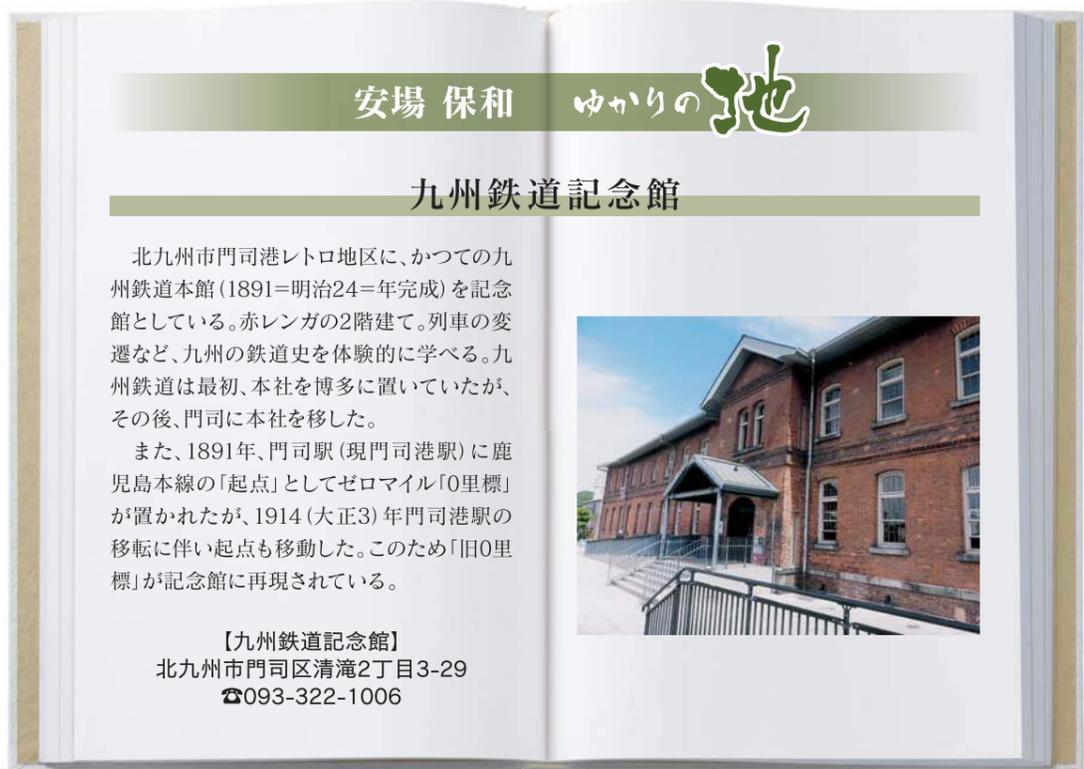
安場は、新政府のリーダー大久保利通に近く、遣米欧使節団の一員として、アメリカ、欧州と産業革命後、急速な発展を遂げる先進諸国を視察した。彼をとらえたのは、米国の開拓魂である。いかなる困難があろうとも、自らの力を信じて、西へ西へと進む開拓民たち、そのパイオニア精神であった。

「見るべきものは見た」と判断した安場は、使節団の途中から抜けて帰国する。「吾輩の英語は通じぬ。これ以上、見て回っても無駄じゃ」と帰国の理由を言ったという説もある。

福島県令として、戊辰戦争で深く傷付いていた旧会津藩に赴任(1872(明治5)年)するや、郡山の規模な「安積開拓」の為、官軍に敗れた二本松士族を中心に、開成社を結成(1873(明治6)年)、サムライたちに刀を鋏に持ち替え、「未来を拓く」ことを説いた。「一尺を開けば、一尺の仕合せあり。一寸を墾すれば、一寸の幸いあり」

大久保利通を通じて、オランダ人土木技師を招致、猪苗代湖から延々たる水路を開削するなどの大事業にも取り組んだ。開墾地への入植第1号は、旧久留米藩士だった。

安場は、福島県令の後、福岡県令となり、さらに北海道開拓使となる。開拓精神を貫いた人生であった。 || 敬称略(久保平)



### 安場 保和 ゆかりの地

#### 九州鉄道記念館

北九州市門司港レトロ地区に、かつての九州鉄道本館(1891=明治24=年完成)を記念館としている。赤レンガの2階建て。列車の変遷など、九州の鉄道史を体験的に学べる。九州鉄道は最初、本社を博多に置いていたが、その後、門司に本社を移した。

また、1891年、門司駅(現門司港駅)に鹿児島本線の「起点」としてゼロマイル「0里標」が置かれたが、1914(大正3)年門司港駅の移転に伴い起点も移動した。このため「旧0里標」が記念館に再現されている。

【九州鉄道記念館】  
北九州市門司区清滝2丁目3-29  
☎093-322-1006